

よのうづ国際交流会

～令和5年9月7日(木)訪問～ 【佐伯市】



よのうづ国際交流会は、佐伯市米水津地域にお住まいの外国人技能実習生の生活支援や地域との交流などを実施するため、平成26年に設立された団体で、受入企業と技能実習生から構成されています。現在、米水津地域だけでも、ベトナム、ミャンマー、インドネシアなど様々な国から約110名が主に水産加工業に従事されています。

懇談では、技能実習生の生活を支援している、よのうづ国際交流会事務局の方から、日本語教室や災害時の連絡先が記載された「防災おまもり」の配布などの活動についてお聞きするとともに、受入企業の方とベトナム出身の実習生から、職場の状況や日々の生活などについてお聞きしました。

受入企業の方からは、貴重な人材である技能実習生の地元定着に向けて、お祭りへの参加や買い物支援といった技能実習生が地域に溶け込むための取組をお聞きしました。また、今後予定されている技能実習制度の改正により、都市への一極集中が懸念されていることや、受入れに必要なとなる宿舍等の費用負担が増していることなどについてもお伺いしました。

技能実習生の皆さんが大分県にとって貴重な人材となっていることを踏まえ、どのような施策をすれば本県を選んでいただけるかを考え、必要に応じて国に要望するとともに、市町村と連携して対応したいとお伝えしました。

対話風景



関連する県の施策

☆事業名:外国人受入環境整備事業

事業概要:外国人が日常生活や社会生活を円滑に営み、安全・安心に暮らすことのできる受入環境を整備

【特】初級日本語教室のモデル開催、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーターの配置、外国人総合相談センターの運営など

予算額:3,464万円

☆事業名:外国人労働者受入対策強化事業

事業概要:外国人材の受入れ・定着を推進するため、海外に向けて県内の情報を発信するとともに、就業環境等の整備に取り組む企業等への支援を実施

・県内中小企業等が行う外国人材の就業環境整備等に要する経費への助成
(補助率:1/2 限度額50万円、賃上げ枠:1/2 限度額100万円)

SNSを活用した外国人向け県内情報の発信

予算額:5,415万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おおいの創造挑戦事業」